

瀬戸内海の環境保全・創造研究 ワークショップ

テーマ：瀬戸内海を豊かな海に ～何をすべきか～

(特非)瀬戸内海研究会議は、豊かな瀬戸内海に向けた提言に取り組んでいます。
今回のワークショップでは、提言に係る中間報告を行い、意見交換します。

日時：令和5年12月19日（火）13:00～17:00

会場：スペースアルファ三宮 大会議室

(神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ 6階)

参加費：無料

定員：60名（先着順）+ Web参加 300名 (WebシステムはZoom Webinarを使用)

主催：特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議

後援(予定)：(公社)瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、
ひょうご環境保全連絡会

プログラムは裏面にあります

参加申し込み

(1)Web参加の方(下記URLより参加申し込みしてください。)

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_sDq2RCavTSqCXDtSaZg62Q

☛ QRコードはこちら



(2)会場参加の方(下記①又は②により参加申し込みしてください。)

①Googleフォーム

<https://forms.gle/Ca2CgbZyBrtW7R1s8>

☛ QRコードはこちら



②Eメール

件名を「ワークショップ参加申込」としていただき、次の

1)～3)を明記の上、瀬戸内海研究会議 (web@seto.or.jp) にお申込みください。

1)氏名(ふりがな)、2)所属名、3)連絡先(Eメール、電話番号)

- ・マスクの着用は各自の判断をお願いします。
- ・当日、発熱や体調不良のある場合は、参加をご遠慮ください。

会場のご案内



【アクセス】

- ・JR「三ノ宮」駅、各線「三宮」駅より徒歩約 5 分
 - ・地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅より徒歩約 3 分
- 会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください

趣 旨

平成27年(2015年)の瀬戸内海環境保全特別措置法の改正で理念の方針転換があり、「豊かな瀬戸内海」を目指すこととなったが、総論賛成、各論は模索中の状況である。さらに「豊かな瀬戸内海」の実現には、瀬戸内海独自の問題の他に、地球規模の環境変動に伴う水温上昇、海洋酸性化、貧酸素化などへの対応も必要となっている。

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議では、令和5年(2023年)、瀬戸内海環境保全特別措置法制定50周年を迎えるにあたり、これまでの瀬戸内海環境保全知事・市長会議からの委託研究の成果を「豊かな瀬戸内海の実現」の視点から包括的に検討、再編成して、さらに不足部分を補充して、「豊かな瀬戸内海の実現」に寄与できる提言書の作成にとりかかっている。本ワークショップは、提言書作成の中間報告の場として位置付け、提言書各章の執筆責任者から各章での提言案を発表していただき、ワークショップ参加者との意見交換を通じて、提言書作成に資することとする。

プ ロ グ ラ ム

13:00	開会あいさつ	駒井 幸雄	(特非)瀬戸内海研究会議 副理事長兼企画委員長
(講演)			
13:10~13:30	今、何をなすべきか ~提言の必要性和検討の経緯~	松田 治	(特非)瀬戸内海研究会議 理事長
13:30~13:50	瀬戸内海の環境管理制度ならびに 人文社会科学的側面	日高 健	近畿大学産業理工学部 教授
13:50~14:10	瀬戸内海の水質と底質 ~その現状と将来に向けて~	多田 邦尚	香川大学農学部 教授
14:10~14:20	(休憩:10分間)		
14:20~14:40	瀬戸内海の環境変動と生態系の応答 ~その理解と予測に向けて~	吉江 直樹	愛媛大学沿岸環境科学研究センター 講師
14:40~15:00	未来のために知っておきたい海と プラスチックの話	原田 禎夫	同志社大学経済学部 准教授
15:00~15:20	瀬戸内海のブルーカーボン・環境学習	上月 康則	徳島大学環境防災研究センター 教授
15:20~15:30	(休憩:10分間)		
15:30~17:00	パネルディスカッション	テーマ:「豊かな瀬戸内海」の未来を語ろう コーディネーター:駒井 幸雄 パネラー:松田 治、日高 健、多田 邦尚、 吉江 直樹、原田 禎夫、上月 康則	
17:00	閉会あいさつ	春名 克彦	(特非)瀬戸内海研究会議 副理事長